

徳川家康公 歴史年表

家康公は75年の生涯で、**3回**駿府で暮らしていたと伝えられています。延べ**27年**という長い期間です。では家康公はどのような人生を歩んできたのでしょうか。歴史年表を追いながら、家康公の時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

家康公 in 駿府 ...大御所時代... 3

1613年 (慶長18年) 72歳
イギリス国王使節、イギリス商館の開設を許可される

1614年 (慶長19年) 73歳
大坂冬の陣(11月)

1615年 (慶長20年) 74歳
大坂夏の陣(6月)

1616年 (元和2年) 75歳
家康、駿府城で薨去(4月17日)
久能山に埋葬する

2019年 (平成27年)
徳川家康公薨去400年祭(4月)
久能山東照宮里程標建設

家康公 in 駿府 ...五力国時代... 2

1598年 (慶長3年) 57歳
豊臣秀吉没(8月)

1600年 (慶長5年) 59歳
関ヶ原の合戦(9月)

1603年 (慶長8年) 62歳
家康、征夷大將軍となる(2月)

1605年 (慶長10年) 64歳
征夷大將軍を秀忠に譲り大御所時代始まる(4月)

1606年 (慶長11年) 65歳
駿府城を隠居城に決める(3月)

1607年 (慶長12年) 66歳
駿府の工事開始(2月)

1610年 (慶長15年) 69歳
家康、駿府入城(7月)

1611年 (慶長16年) 70歳
駿府城で失火、本丸焼く(12月)

1612年 (慶長17年) 71歳
本丸御館が完成(3月)

1613年 (慶長18年) 72歳
駿府城天守台上様式(8月)

1614年 (慶長19年) 73歳
天守閣落成(慶長天守)

1615年 (慶長20年) 74歳
スペイン国王使節、洋時計を献上

家康公 in 駿府 ...研鑽時代... 1

1542年 (天文11年) 1歳
三河岡崎城主松平広忠の長男として生まれる。幼名は竹千代(12月26日)

1547年 (天文16年) 6歳
今川氏の人質として駿府に行く途中、戸田康光に謀られ尾張・織田信秀のもとへ送られる(8月)

1549年 (天文18年) 8歳
織田信広と竹千代を人質交換、竹千代、駿府に出生(11月)

1555年 (弘治3年) 14歳
竹千代、浅間神社にて元服

1557年 (弘治5年) 16歳
松平次郎三郎元信と改める(3月)

1558年 (弘治6年) 17歳
関口義広の娘(築山殿)を娶る(1月)

1559年 (永祿元年) 18歳
元信、初陣。三河寺部城を攻める

1560年 (永祿2年) 19歳
元康と改名(2月)

1563年 (永祿6年) 22歳
長男竹千代(信康)生まれる

1566年 (永祿9年) 25歳
今川義元、桶狭間で信長の奇襲を受け討死

1567年 (永祿10年) 26歳
元康、岡崎城に入る(6月)

1568年 (永祿11年) 27歳
家康と改名(7月)

1569年 (永祿12年) 28歳
松平から徳川に改姓(12月)

1570年 (元徳元年) 29歳
姉川の合戦(6月)

1572年 (元徳3年) 31歳
三方原の戦い

1573年 (天正元年) 32歳
武田信玄に大敗する(三大苦難) (12月)

1575年 (天正3年) 34歳
長篠・設楽原の戦い(6月)

1577年 (天正5年) 36歳
信長、家康に信康・築山殿の処罰を命じる(三大苦難) (7月)

1579年 (天正7年) 38歳
家康、信長から駿河一國を与えられる(3月)

1582年 (天正10年) 41歳
本能寺の変、信長が明智光秀に討たれる(6月)

1584年 (天正12年) 43歳
伊賀越え(三大苦難)

1585年 (天正13年) 44歳
小牧の戦い(3月)

1586年 (天正14年) 45歳
長久手の戦い(4月)

1588年 (天正16年) 47歳
駿府城の修築に着手(7月)

1589年 (天正17年) 48歳
家康、秀吉の妹朝日姫を娶る(6月)

1590年 (天正18年) 49歳
浜松城から駿府城に移る(12月)

1591年 (天正19年) 50歳
駿府城の天守閣が完成(天正天守)(5月)

1592年 (天正20年) 51歳
家康、小田原攻めに三万の大軍を率い、秀吉、駿府城に入る(3月)

1593年 (天正21年) 52歳
北条氏直が降伏(7月)

1594年 (天正22年) 53歳
家康、関東移封を命じられ江戸入城(8月)

大御所時代の10年間を駿府で過ごす

検索! 詳しくは [大御所400年 隠居](#)

五力国時代の5年間を駿府で過ごす

検索! 詳しくは [大御所400年 五力国](#)

研鑽時代の12年間を駿府で過ごす

検索! 詳しくは [大御所400年 竹千代](#)



時代は移ろい、
変わりゆくが
家康公が作り、
愛したまちは
今も変わらない



平成26年4月3日一般公開

ひつじさるやぐら
坤櫓

駿府城公園に坤櫓が復元されました。

坤櫓は1854年の安政東海地震で崩壊したため、復元は実に160年ぶりとなります。地域産の木材と伝統的な工法で建てられた櫓は、純白の漆喰の壁と瓦屋根の対比が美しく、最上部には青銅の鯉(しゃちほこ)が設置されています。

坤櫓の内部では、家康公が見たらあっと驚くような新しい展示を導入しました。その名も「今昔スコープ〜駿府時空鏡(すんぷじくうきょう)〜」。最新の技術を用いた特殊なゴーグルをかけて見てみると、不思議なことに大御所政治を展開する家康公の様子が目の前に現れるではありませんか。

平成27年には家康公が薨去(こうきょ)し四百年の節目の年を迎えます。ぜひこの機会に駿府城公園に足を運んでいただき、体験してみたいかがでしょうか。

検索! 詳しくは [平成26年 ひつじさる櫓](#)

家康公が愛した“駿府グルメ”

家康公とお茶のまち・静岡

歴史が息づく静岡市だからこそ、受け継がれてきた味。その一つがお茶です。家康公は静岡茶をこよなく愛し、安倍川流域の山間地で生産された新茶を、標高1000mを超える大日峠のお茶壺屋敷で名器の茶壺に詰めて熟成させ、風味と香りが増した晩秋に駿府まで運ばせて茶の湯を楽しみました。城下町にはお茶の取引を専門とする「茶町」が誕生し、何代もの將軍に好まれた静岡茶は、全国に知れ渡りました。

家康公とワサビ

静岡市を流れる安倍川上流にある有東木は、ワサビ栽培発祥の地。味が良く、葉の形が徳川の家紋に似ていたところから大変気に入り、門外不出の御法度品として珍重されました。栄養価も高く抗菌性に優れた食品で、今では日本を代表するスパイスとして、海外でも人気があります。

家康公が名付け親・安倍川餅

きな粉をまぶした餅に砂糖をかけていただくお馴染みの静岡銘菓。江戸時代から安倍川畔で売られ、きな粉を上流で採れる金に例えた店主の機知を喜び、家康公が名付けたといわれています。梅ヶ島温泉郷から2km下がったところに当時の金山の入り口があり、周辺には奉行屋敷跡や神社跡などもあり、当時の繁栄ぶりが偲べれます。

家康公とみかん

將軍職を辞する際、紀州藩(和歌山県)より献上されたみかんを家康公が自ら庭に植えたと伝えられています。この「家康公お手植えのみかん」は、現在も駿府城公園にあり、原種に近いみかんで、静岡県の指定天然記念物になっています。静岡市は全国で栽培されている「青島温州」発祥の地で、その他にも「スルガエレガント」、「太田ボンカン」、「清見」、「はるみ」など、静岡生まれの品種がたくさんあります。

このパンフレットは、平成26年5月11日まで(期間限定)の「駿府まち巡り」路面標示社会実験の一環で作成しています。「駿府まち巡り」路面標示社会実験とは、静岡駅北口駅前広場の家康公像及び竹千代君像と駿府城公園の大御所像を加えた、3体の家康公の銅像と静岡駅南口駅前広場にある久能山東照宮里程標の戦略的有効活用を検討する「静岡市家康公像等利活用検討委員会」で、現在の位置での活用策(像の移設は社会実験結果を受け検討予定)の1つとして承認を受け、観光客や市民のみならず、まちの回遊性や歴史資産の認知度向上と家康公のまちであることの情報発信を行うことを目的に実施しております。

路面標示を
たどってみよう!

路面シール(大) 路面シール(小)

交通案内

- 観光タクシーの問い合わせ
静岡県タクシー協会: 054-261-1401
- 鉄道の問い合わせ
静岡鉄道鉄道営業所: 054-261-6981
- 定期観光バス・路線バスの問い合わせ
しずてつジャストライン
(新静岡バス案内所): 054-252-0505
(お客様センター): 0120-012-990 (平日のみ)

観光ボランティアガイド

- 駿府案内人
駿府ウェイブ: 054-253-3616

料金/ガイド料は無料
ただし、ガイド1名につき
運営費1,000円を
ご負担ください